

【町長】

<p>通告順</p>	<p>6</p>	<p>質問 議員</p>	<p>久保議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>りよく 沼田 力は、現役世代の孤独死 & 孤立死を防げるか？</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>全国で孤独死が増え対策が求められる一方で、厚生労働省の担当者は「『孤独』の定義は個人の内面の問題を含むので、孤独死をどう定義するかが難しい。」と語っています。たとえば大家族であっても、同居人との交流が薄ければ孤独と定義できます。また一人暮らしであっても、友人がいて職場や町内会などに積極的に参加されていれば、孤独とは言えないでしょう。そもそも「孤独は悪い」とは言えないので、より問題を複雑化しています。つまり住みよい自治体のバロメータのひとつは、「誰もが社会的に孤立しない社会を築き」つつ、「孤独であっても健康な生活が保障され」、さらに「孤独死が無い」まちです。そして、それらは「移住定住」に直結します。</p> <p>資料①を見てください。沼田町のようにきめ細やかな事業が可能な自治体は、データを根拠に対策を立てる必要があります。</p> <p>問① 役場は孤独死の対策に、どのようなデータを活用していますか？ 問② 沼田町の町内会への参加率の近年の傾向は？また地域差は？ 問③ 一人暮らしの健康診査の受診率は？共同生活者とどう違うか？ 問④ 世代ごとに「健康診査の結果」や「納税」、「公共料金やガス代などの滞納」などを組み合わせて孤独死のサインを把握していますか？</p> <p>これらの質問が示すように、孤独死の問題は原課をまたぎます。つまり、役場の総合力＝「沼田力」が試されています。</p> <p>資料②を見てください。役場はすでに高齢者の孤立死を防止する事業は、地域で孤立しがちな人の「把握」や「見守り」、気楽に「相談」や「交流」を行える「居場所づくり」などを行っています。</p> <p>問⑤ 現役世代の孤独死対策は何を行っていますか？ 問⑥ 若年・現役世代向け福祉サービスの情報発信の手法と効果は？ 問⑦ 潜在労働力ひきこもり人数の把握や、支援センターはありますか？</p> <p>資料③を見てください。孤独死の対策は、まちづくりに直結します。</p> <p>問⑧ 沼田町の世代ごと一人暮らし率の5、10、15、20年後の推定は？</p>		



データを根拠に対策を立てよう♪

死の対策の対象は、もはや高齢者だけではない。

近年、お亡くなりになられた沼田町民の**年齢別**の人数

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年 9月7日迄
0歳～19歳	0人						
20歳～29歳	0人						
30歳～39歳	0人						
40歳～49歳	0人	0人	2人	1人	2人	2人	1人
50歳～59歳	1人	0人	0人	0人	1人	1人	2人
60歳～69歳	7人	4人	1人	1人	3人	4人	3人
70歳～79歳	6人	11人	4人	5人	7人	7人	4人
80歳～89歳	15人	21人	13人	14人	21人	12人	8人
90歳～	12人	19人	8人	14人	20人	19人	11人

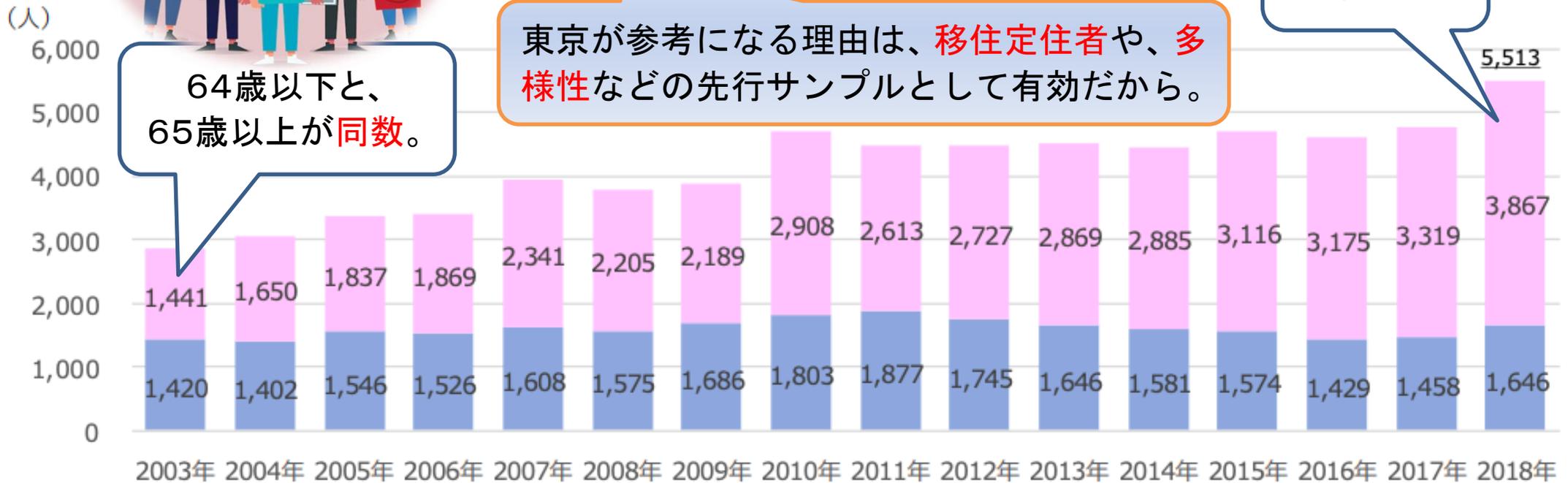
近年は、世代間の格差が減ってきている。

孤独死は、老人だけではない。

資料②



【東京都区部における年齢階級別の孤独死数の推移】



65歳以上は約7割。

64歳以下と、65歳以上が同数。

東京が参考になる理由は、**移住定住者**や、**多様性**などの先行サンプルとして有効だから。

非マッチョの生存スペースの確保に公共は貢献できているか？

さらに**コロナ**で孤独死は増加。

注1: 本データでは、孤独死を「異状死のうち、自宅で亡くなられた一人暮らしの人」と定義している。

注2: 異状死は外因死(災害死)とその後遺症・続発症、自殺、他殺、内因か外因か死因が不明な死亡の事例であり、医師による病死との判断がなされず、事件・事故との関連が疑われ、警察署への届出が義務付けられている。

注3: なお、「0～14歳」に関しては、0件であったため(2003～2018年)グラフ非掲載としている。

出典: 東京都「東京都監察医務院で取り扱った自宅住居で亡くなった単身世帯の者の統計(平成30年)」より作成

孤独死は流行病や災害など、**非日常に弱い**。



疑似的孤独死バリエーションを注視

孤独死の7つの特徴 & 共通点。

家事が苦手

病気

無趣味

高齢

貧困

孤立

一人

疑似的孤独死の例

ゼロ歳児虐待

沼田町から転出

認知症

上記7つの撲滅がまちづくり！

家事が苦手な方は食事が適当になり、
ごみ屋敷になり、不衛生から体調不良
になり、精神不安定になります。



事業『母子保健』に「おそうじ
裏技テクニク」なども導入しては？

点ではなく、面の展開を！

孤独死の対策が、事業『移住定住』や
『地域おこし協力隊』の裏ワザになる♪



事業『社会教育』
での講座「認知症マメ知識」も良いですが、旧来
のサークル活動などの、
やや能動的な環境づく
りがより効果的では？

それが沼田力です♪

強化するために事業を組み合わせる！

※「疑似的孤独死」とは、久保元宏の造語です。

【町長】

<p>通告順</p>	<p>7</p>	<p>質問 議員</p>	<p>三浦議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>沼田町の PR・広報の充実と各課情報共有で定期的な更新を</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>現在町民の多くは、紙媒体ではなく様々なネット環境の中で情報を得ています。本町もホームページやラインなどの SNS を活用し、たくさんの情報を提供していますが、情報の取りまとめや定期的な更新が進んでいない状況にあると思います。</p> <p>町内向けには、タイムリーな正しい情報を伝え行動を起こしてもらうことが大切で、また町外向けには観光施設の紹介や誘致、町の魅力やイベントの告知など、各課の情報を共有し伝えたいターゲットに届けなければなりません。</p> <p>沼田町には夜高あんどん祭りや化石をはじめたくさんの観光資源や情報がある中、今後も PR・広報は益々重要となり、更なる情報発信の基盤を整えホームページや SNS の活用と定期的な更新が必要と考えます。</p> <p>そこで町長に伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町のホームページを運営管理している課と専任職員の有無 2. 防災無線の情報を知ることができるラインがあるが その他の SNS を活用しているか 3. 情報を取りまとめる際に各課の情報の共有はどのようにしているか 		

【町長】

<p>通告順</p>	<p>8</p>	<p>質問 議員</p>	<p>上野議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>公共施設等総合管理計画策定のその後について</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>令和5年3月に『沼田町 公共施設等総合管理計画』が改訂されました。その後の行政としての対応等について町長に伺います。</p> <p>29ページには「総合的にかつ計画的な管理を実施するための体制の構築方針」とあり、</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 推進体制 (2) 財政との連携 (3) 町民との協働 (4) 職員の意識改革 (5) 地方公共会計の活用 <p>との記載があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 改定後の具体的に取り組んだ内容 2. 特に「町民との協働」で住民への情報の提供、住民説明は行われたのか。 町民の多くはこの管理計画は知らないのでは？ 3. 計画の達成には財源が必要と考えるが、修繕維持管理に関する目的基金等の検討についての町長の考えは。 		

【町長】

通告順	9	質問 議員	大沼議員
質問 項目	冬期間の生活支援を		
質問 内容	<p>冬期間の生活において除雪作業が離町する一因となっている感があります</p> <p>豪雪地帯の本町では高齢者になるほど家の除雪が重荷になっています</p> <p>高齢化率が44.9%になっていることを鑑みますと高齢者が安心して持ち家で住み続けてもらうためには冬の生活支援策と、雪と共存していくための施策が必要と思います</p> <p>生活支援策としては暖房補助金、エネルギー効率改善補助金、除雪道具購入補助金、コミュニティサポートがあげられます</p> <p>また、雪と共存するための施策としては、環境整備、持続可能な雪利用、地域連携などが考えられます</p> <p>今年はどのような冬になるかわかりませんが、雪の弊害で人口を減らしてはいけないと思います</p> <p>対策としてコミュニティ強化と行政支援の強化が必要と思います</p> <p>豪雪災害への対処を考えながら、雪と共に暮らしやすい町づくりについて町長の所信をお尋ねします</p>		

除雪どうしよう！

HELP !

